

平成10年度北海道観光入込客数調査の概要

北海道経済部観光局

本調査は、「全国観光統計基準」により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、「観光入込客数が年間5万人以上見込まれる202市町村」が行った調査結果を集計したものです。

記

1 北海道における観光入込客実人数；前年比1.8%の増加

観光入込客数の実人数	4,956万人	(前年比 101.8%、87万人増)
うち道外客	609万人	(同 102.2%、13万人増)
うち道内客	4,347万人	(同 101.7%、74万人増)

実人数とは：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えること。

2 北海道における観光入込客の延べ人数(202市町村の合計)；前年比2.0%の増加

(1) 観光入込客延べ人数(総数)	1億4,393万人	(前年比 102.0%、280万人増)
うち道外客	4,633万人	(同 102.4%、108万人増)
うち道内客	9,760万人	(同 101.8%、172万人増)

延べ人数とは：1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合、それぞれの市町村でカウントされるため5人と数えること。

(2) 圏域別(延べ人数)

・道央圏	7,753万人	(前年比 102.1%、構成比 53.9%)
・道北圏	2,132万人	(同 105.8%、同 14.8%)
・道南圏	1,453万人	(同 100.1%、同 10.1%)
・オホーツク圏	1,185万人	(同 102.3%、同 8.2%)
・釧路根室圏	971万人	(同 97.8%、同 6.7%)
・十勝圏	899万人	(同 100.0%、同 6.2%)

3 要因・背景

- ・全国的に深刻化している不況下での個人消費の伸び悩み
- ・夏季の天候不順

などのマイナス要因があったものの、その一方で

- ・春先の温暖な気候（観測史上最高の平均気温）
- ・室蘭の白鳥大橋の開通効果、小樽の大型複合商業施設の新設
- ・ラベンダー、丘陵風景など北海道観光の根強い人気と人気テレビドラマ「北の国から」の放映との相乗効果
- ・低廉なツアー商品の販売、普及
- ・総合経済対策～観光関連振興策

道及び市管理の空港使用料の引下げとこれに連動した積極的な観光プロモーション活動の展開など

などにより、全体として前年に比べて増加につながったものと思われる。

4 訪日外国人の来道者数；実人数で前年比40.9%の大幅な増加

(1) 来道者数（実人数） 17万 300人（前年比140.9%、49,400人増）
（上位国）

- | | |
|---------|-----------------------------|
| ・台湾 | 9万3,700人（同 177.5%、40,900人増） |
| ・中国（香港） | 1万5,200人（同 132.2%、3,700人増） |
| ・韓国 | 1万 800人（同 65.5%、5,700人増） |
| ・アメリカ | 8,100人（同 93.1%、600人増） |
| ・ロシア | 5,700人（同 78.1%、1,600人増） |

(2) 要因・背景

【台湾客の大幅な増加】

- ・台湾で「北海道観光ブーム」が本格化し、北海道乗り入れのチャーター便が大幅に増便

【韓国客の大幅な減少】

- ・韓国の経済危機の影響により海外旅行需要が低迷（年度後半からは回復基調あり）

(3) 来道外国人宿泊延べ人数 51万1,381人泊
（前年比148.4%、16.7万人増）

北海道観光入込客数調査の内容と留意事項

1 観光入込客数調査について

本調査は、全国観光統計基準により道が定めた「北海道観光入込客数調査要領」に基づき、観光入込客数が年間5万人以上見込まれる202市町村が調査を行った結果を集計したものです。

2 調査内容

(1) 観光入込客数

ア 観光入込客数【延べ人数】

道内202市町村の観光入込客数を集計した観光入込客の延べ人数。

延べ人数とは： 1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合、それぞれの市町村でカウントされるため5人と数えること。

イ 観光入込客数【実人数】

道内202市町村の観光入込客数や観光動態調査などにより推計した北海道における観光入込客の実人数

実人数とは： 1人の観光客が1回の旅行で、5市町村を訪問している場合でも、1人と数えること。

(2) 来道観光客数

平成10年度の交通機関（航空機、フェリー、鉄道）の下り便の輸送実績を基に、「来道観光客率調査」や「来道観光客動態調査」により推計した来道観光客の実人数。

(3) 訪日外国人来道者数

平成10年度に、北海道を訪れた外国人について、「宿泊施設調査」や「動態調査」などから推計した訪日外国人入込客数。

3 利用上の留意事項

- (1) 今回の調査は、平成10年度（10年4月～11年3月）を基に行っており、「春」は4・5月、「夏」は6月～9月、「秋」は10・11月、「冬」は12月～3月として、取り扱っております。
- (2) 市町村ごとの観光入込客数調査は、実人数で推計していますが、「支庁の計」、「圏域の計」は延べ人数となっております。
- (3) 前年度比較の数値は、一部市町村（*印）において訂正があったことから修正しております。

観光入込客数調査の概要

1 観光入込客数（延べ人数）

（1）概況

平成10年度の観光入込客の総数は、延べ1億4,393万人で、前年度に比べ2.0%の増加となっております。

全国的に深刻化している不況下での個人消費の伸び悩みや夏季の天候不順などのマイナス要因があったものの、春先の温暖な天候、白鳥大橋の開通効果、ラベンダー・丘陵風景の根強い人気や人気テレビドラマの放映との相乗効果、官民一体となったのプロモーション活動・誘致キャンペーンの展開、観光関連を含めた総合経済対策の実施などにより、全体として2.0%の増加になったものと思われます。

（2）調査結果の前年度比較

総数

平成10年度の道内202市町村における観光入込客総数は、延べ1億4,393万人で、前年同期に比べ2.0%（280万人）の増加となっております。

道外・道内客別

道外客は、4,633万人で前年度に比べ2.4%（108万人）の増加、道内客は9,760万人で前年度に比べ1.8%（172万人）の増加となっております。

日帰り・宿泊客別

日帰り客は、1億1,442万人で前年同期に比べ2.1%（230万人）の増加、宿泊客は2,951万人で前年同期に比べ1.7%（50万人）の増加となっております。

【平成10年度観光入込客数（延べ人数）】

区分	観光入込客数	前年度比	増減数	構成比
202市町村総数	14,393万人	102.0%	280万人	100.0%
道外客	4,633万人	102.4%	108万人	32.2%
道内客	9,760万人	101.8%	172万人	67.8%
日帰り客	11,442万人	102.1%	230万人	79.5%
宿泊客	2,951万人	101.7%	50万人	20.5%

月別・季節別

月別にみると、6月・7月では前年を下回りましたが、9月・11月は概ね前年並み、これら以外の各月は前年を上回っており、全体としては堅調に推移しております。

季節別にみると、夏は概ね前年並み、春・秋・冬は前年同期に比べそれぞれ5.6%、2.3%、5.6%の増加の増加となっております。

【月別・季節別観光入込客数（延べ人数）】 (万人、%)

区分	春		夏				上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月別	654	1,385	1,392	2,157	2,533	1,557	9,678
構成比	4.5	9.6	9.7	15.0	17.6	10.8	67.2
前年比	103.2	106.7	95.9	98.5	103.2	99.6	100.9
季節別	2,039		7,639				9,678
構成比	14.2		53.1				67.2
前年比	105.6		99.7				100.9

区分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月別	1,229	624	556	726	830	751	4,715	14,393
構成比	8.5	4.3	3.9	5.0	5.8	5.2	32.8	100.0
前年比	103.5	99.8	108.2	103.6	101.4	110.6	104.2	102.0
季節別	1,853		2,862				4,715	-
構成比	12.9		19.9				32.8	-
前年比	102.3		105.6				104.2	-

圏域別

圏域別にみると、釧路根室圏では前年度を下回りましたが、道央・道北・オホーツク圏では前年を上回っております。道南・十勝圏は概ね前年並みとなっております。

【圏域別観光入込客数（延べ人数）】

圏域別	観光客入込客数	前年同期比	増減数	構成比
道央	7,753万人	102.1%	157万人	53.9%
道北	2,132万人	105.8%	116万人	14.8%
道南	1,453万人	100.1%	2万人	10.1%
オホーツク	1,185万人	102.3%	27万人	8.2%
釧路・根室	971万人	97.8%	22万人	6.7%
十勝	899万人	100.0%	0万人	6.2%
合計	14,393万人	102.0%	280万人	100.0%

【圏域別の状況】

- ・ 道央 : 国道229号（積丹地域）全面開通効果は薄まったものの、白鳥大橋の開通効果や大型複合商業施設の新設・温泉整備などにより増加となっております。
- ・ 道北 : ラベンダー・丘陵風景の根強い人気や人気テレビドラマの放映との相乗効果、W杯スノーボード大会など各種大会開催などにより増加となっております。
- ・ 道南 : 5月の大雨被害や夏季の天候不順などの影響があったものの、冬のイベント開催により入込みが好調だったことにより全体としては前年並みとなっております。
- ・ オホーツク : 春季の好天に加え、観光施設・スポットの新設や、冬季流氷観光入込客の定着などにより増加となっております。
- ・ 釧路・根室 : 秋・冬のイベント開催により入込みが好調だったものの、夏季の天候不順、9月の2度の台風などの影響により、全体としてはやや減少となっております。
- ・ 十勝 : 夏季の天候不順、9月の2度の台風などの影響があったものの、全体としては前年度並みとなっております。

2 観光入込客数（実人数）

道では、道内202市町村が実施している「観光入込客数調査」と道が実施している「観光動態調査」をもとに、観光入込客数の実人数を推計しています。

平成10年度の観光入込客総数（実人数）を調査結果から推計すると4,956万人となり、前年度に比べ1.8%の増加となりました。

これを道外・道内客別にみると、道外客は609万人（構成比12.3%）で、前年度に比べ2.2%増加しており、道内客は4,347万人（同87.7%）で、1.7%の増加となっています。

また、日帰り・宿泊所では、日帰り客は3,428万人（構成比69.2%）、宿泊客は1,528万人（同30.8%）となっています。

平成10年度観光入込客（実人数）

	観光入込客数	構成比	左の内訳	
			日帰り客	宿泊客
道内客	4,347万人	87.7%	3,425万人	922万人
構成比	100.0%		78.8%	21.2%
前年度対比	101.7%		102.0%	100.9%
道外客	609万人	12.3%	3万人	606万人
構成比	100.0%		0.5%	99.5%
前年度対比	102.2%		101.7%	102.2%
合計	4,956万人	100.0%	3,428万人	1,528万人
構成比	100.0%		69.2%	30.8%
前年度対比	101.8%		102.0%	101.4%

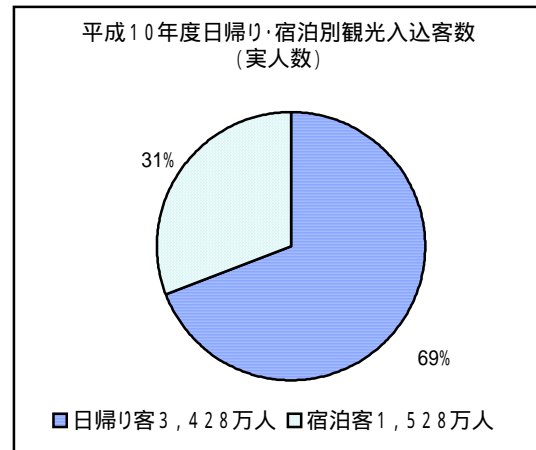
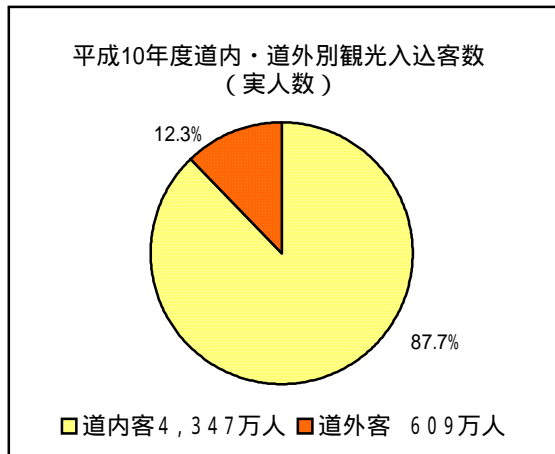
季節別

	春	夏	上期計	秋	冬	下期計	合計
	712万人	2,605万人	3,316万人	618万人	1,021万人	1,639万人	4,956万人
構成比	14.4%	52.6%	66.9%	12.5%	20.6%	33.1%	100.0%
前年度対比	106.4%	99.3%	100.8%	100.5%	106.1%	103.9%	101.8%

注1) 千人以下四捨五入のため、合計が合致しない場合があります。

注2) 前年度対比(%)・構成比は人単位で計算しています。

注3) 前年度対比に利用した9年度の道内客の人数は、一部市町村で訂正があったため修正しています。



来道観光客に関する調査の概要

1 概況

平成10年度の交通機関（航空機・フェリー・鉄道）の下り便の輸送実績を基に推計した来道観光客数は、609万人となっており、前年に比べ2.2%の増加となっています。

季節別にみると、夏（6月～9月）が339万人で全体の55.7%を占め、次いで、冬（12月～3月）が118万人（構成比19.4%）、春（4月～5月）が80万人（同13.2%）、秋（10月～11月）が71万人（同11.7%）の順となっています。

前年度と比較すると、天候が不順だった夏は前年度を0.3%下回りましたが、他の季節では増加しており、特に冬は、冬季観光の宣伝誘致活動などが実を結び、8.2%の増加となりました。

2 交通機関別の状況

平成10年度の来道観光客数を交通機関別にみると、航空機が493万人（構成比81.0%）と最も多く、次いで、フェリーが67万人（同11.0%）、鉄道が49万人（同8.0%）となっています。

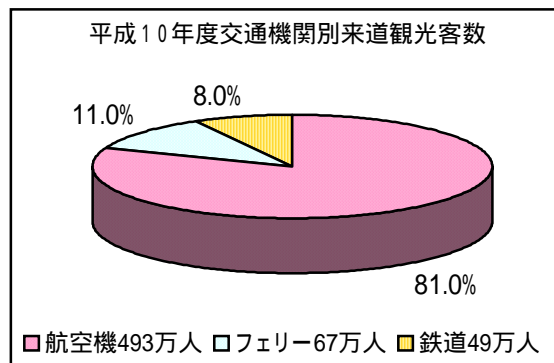
前年度と比較すると、航空機は3.8%増加していますが、フェリー、鉄道については前年度を下回る結果となっています。

平成10年度来道観光客数（交通機関別・季節別）

	区分	合計	構成比	春	夏	秋	冬
合計	来道観光客数	609万人	100.0%	80万人	339万人	71万人	118万人
	構成比	100.0%		13.2%	55.7%	11.7%	19.4%
	前年度対比	102.2%		104.2%	99.7%	103.1%	108.2%
航空機	来道観光客数	493万人	81.0%	62万人	269万人	59万人	103万人
	構成比	100.0%		12.6%	54.6%	11.9%	20.9%
	前年度対比	103.8%		105.4%	100.6%	105.2%	111.5%
フェリー	来道観光客数	67万人	11.0%	9万人	47万人	5万人	6万人
	構成比	100.0%		13.7%	69.9%	6.8%	9.7%
	前年度対比	94.9%		103.4%	94.8%	91.7%	87.0%
鉄道	来道観光客数	49万人	8.0%	9万人	23万人	8万人	8万人
	構成比	100.0%		18.4%	47.7%	16.5%	17.3%
	前年度対比	97.1%		97.2%	99.5%	95.7%	92.0%

注1) 千人以下四捨五入のため、合計が合致しない場合があります。

2) 前年度対比(%)・構成比は人単位で計算しています。



(単位：万人)

交通機関名	区 分	6 3 年度	元年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	
合計	観光客数	312	353	392	418	424	412	
	前年度対比	113.5%	112.9%	111.2%	106.6%	101.4%	97.1%	
内 訳	航空機	観光客数	156	203	236	255	264	264
		前年度対比	106.4%	129.8%	116.2%	108.0%	103.7%	99.9%
	フェリー	観光客数	78	87	92	100	100	95
		前年度対比	113.0%	111.5%	105.1%	108.9%	100.5%	95.0%
	鉄道	観光客数	78	62	65	63	59	52
		前年度対比	131.8%	80.3%	103.6%	98.3%	93.5%	88.3%

交通機関名	区 分	6 年度	7 年度	8 年度	(8 年度試算値)	9 年度	1 0 年度	
合計	観光客数	425	430	472	(530)	596	609	
	前年度対比	103.2%	101.2%	109.7%	- %	112.4%	102.2%	
内 訳	航空機	観光客数	274	287	359	(411)	475	493
		前年度対比	104.0%	104.6%	125.0%	- %	115.5%	103.8%
	フェリー	観光客数	101	96	64	(69)	71	67
		前年度対比	105.7%	95.6%	66.8%	- %	103.0%	94.9%
	鉄道	観光客数	50	47	48	(50)	50	49
		前年度対比	94.8%	94.0%	103.5%	- %	100.3%	97.1%

注1) 前年度対比(%)は人単位で計算しています。

注2) 9年度に観光客率の見直しを実施したため、前年度対比に利用した8年度来道観光客数は新試算した観光客数(8年度試算値)です。

訪日外国人の来道者数に関する調査の概要

1 訪日外国人の来道者数（実人数）

（1）概況

平成10年度の訪日外国人の来道者数は、実人数で17万300人で、前年度に比べ40.9%の大幅な増加となっております。

（2）国別

国別にみると、台湾が9万3,700人（前年比77.5%増、構成比55.0%）と最も多く、次いで、中国（香港）が1万5,200人（同32.2%増、8.9%）韓国が1万800人（同34.5%減、6.3%）、アメリカが8,100人（同6.9%減、4.8%）の順となっています。

特に、台湾では、官民一体となって各種媒体を活用したプロモーション活動・誘致キャンペーンの展開により、「北海道観光ブーム」が本格化して、北海道乗り入れのチャーター便が大幅に増便されたことなどから、台湾客は、前年に比べ大幅な増加となっております。

一方、韓国客は、韓国の通貨危機の影響で同国自体の海外旅行需要が低迷していることなどから、年度後半に回復基調になったものの、前年に比べ大幅な減少となっております。

【平成10年度訪日外国人の来道者数（実人数）】

（単位：人、％）

区分	アジア							ヨーロッパ		北米		中南米	アフリカ	オセアニア	不明	合計	
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	その他	小計	ロシア	その他	米国	カナダ						
春季 (4・5月)	10年度	200	800	9,500	1,500	100	300	12,400	1,000	900	1,100	100	100	50	100	1,800	17,550
	9年度	200	2,100	7,900	1,400	100	200	11,900	1,000	600	800	100	100	100	800	1,000	16,400
	前年度対比	100.0	38.1	120.3	107.1	100.0	150.0	104.2	100.0	150.0	137.5	100.0	100.0	50.0	12.5	180.0	107.0
夏季 (6月～9月)	10年度	900	4,500	29,900	3,900	250	1,550	41,000	2,300	2,300	3,500	400	200	150	900	5,200	55,950
	9年度	800	9,800	12,700	3,400	300	900	27,900	2,900	2,000	3,400	500	400	100	1,900	2,200	41,300
	前年度対比	112.5	45.9	235.4	114.7	83.3	172.2	147.0	79.3	115.0	102.9	80.0	50.0	150.0	47.4	236.4	135.5
秋季 (10・11月)	10年度	300	1,800	20,600	1,200	100	800	24,800	900	1,900	1,300	100	400	200	400	2,800	32,800
	9年度	500	2,400	11,800	700	200	700	16,300	1,100	1,400	1,500	200	100	100	100	500	21,300
	前年度対比	50.0	75.0	174.6	171.4	50.0	114.3	152.1	81.8	135.7	86.7	50.0	400.0	200.0	400.0	560.0	154.0
冬季 (12月～3月)	10年度	500	3,700	33,700	8,600	1,000	1,000	48,500	1,500	3,000	2,200	150	200	50	1,200	7,200	64,000
	9年度	700	2,200	20,400	6,000	800	1,000	31,100	2,300	3,500	3,000	200	100	100	500	1,100	41,900
	前年度対比	71.4	168.2	165.2	143.3	125.0	100.0	155.9	65.2	85.7	73.3	75.0	200.0	50.0	240.0	654.8	152.7
合計	10年度	1,900	10,800	93,700	15,200	1,450	3,650	126,700	5,700	8,100	8,100	750	900	450	2,600	17,000	170,300
	9年度	2,200	16,500	52,800	11,500	1,400	2,800	87,200	7,300	7,500	8,700	1,000	700	400	3,300	4,800	120,900
	前年度対比	86.4	66.5	177.5	132.2	103.6	130.4	145.3	78.1	108.0	93.1	75.0	128.6	112.5	78.8	354.2	140.9
10年度国別構成比	1.1	6.3	55.0	8.9	0.9	2.1	74.4	3.3	4.8	4.8	0.4	0.5	0.3	1.5	10.0	100.0	

2 訪日外国人の来道宿泊者数（延べ数）

（1）概況

平成 10 年度の訪日外国人の来道状況を宿泊者数で見ますと、延べで 5 1 1 , 3 8 1 人泊で、前年度に比べ 4 8 . 4 % の大幅な増加となっております。

【平成 10 年度国別訪日外国人の来道宿泊者数（延べ人数）】（単位：人泊、%）

	アジア								ヨーロッパ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	フィリピン	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
10年度	7,012	17,123	308,516	46,573	5,440	1,860	15,896	402,420	11,369	3,298	2,145	4,077	15,093	35,982
9年度	6,544	37,875	169,186	29,204	4,243	1,653	11,561	260,269	8,770	2,257	2,302	4,148	12,528	30,005
前年比	107.2	45.2	182.4	159.5	128.2	112.5	137.5	154.6	129.6	146.1	93.2	98.3	120.5	129.9

	北米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計
	米国	カナダ			豪州	その他		
	10年度	29,215	2,704	4,466	4,548	3,219	1,469	27,358
9年度	24,799	2,572	3,421	3,604	4,547	842	14,608	344,664
前年比	117.8	105.1	130.5	126.2	70.8	174.5	187.3	148.4

（2）月別

月別にみますと、5月・1月を除き各月とも前年同期に比べ大幅増加となっており、特に上期は7・8月にかけて集中し、下期は10月、2月に集中しており、前年対比も大幅に伸びております。

【月別・季節別訪日外国人の来道宿泊者数（延べ人数）】（単位：人泊、%）

区分	春		夏				上期計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
月別	20,000	23,128	31,013	52,615	45,774	39,268	211,798
構成比	3.9	4.5	6.1	10.3	9.0	7.7	41.4
前年度対比	146.1	93.9	136.6	178.7	153.9	137.7	142.4
季節別	43,128		168,670				211,798
構成比	8.4		33.0				41.4
前年度対比	112.6		152.8				142.4

区分	秋		冬				下期計	年間合計
	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
月別	74,639	33,126	40,589	28,231	101,747	21,251	299,583	511,381
構成比	14.6	6.5	7.9	5.5	19.9	4.2	58.6	100.0
前年度対比	148.9	146.6	167.7	81.0	205.2	145.8	152.9	148.4
季節別	107,765		191,818				299,583	511,381
構成比	21.1		37.5				58.6	100.0
前年度対比	148.2		155.7				152.9	148.4

(3) 圏域別

圏域別にみますと、各圏域とも、前年に比べ大幅な増加となっており、特に、オホーツク圏域は、前年の2.5倍となっております。

【平成10年度圏域別訪日外国人の来道宿泊者数(延べ数)】

(単位:人泊、%)

	アジア								ヨーロッパ					
	中国	韓国	台湾	中国(香港)	シンガポール	フィリピン	その他	小計	ロシア	イギリス	フランス	ドイツ	その他	小計
道南	183	504	22,029	997	277	12	253	24,255	879	139	191	158	142	1,509
道央	5,257	14,553	158,295	41,724	4,051	442	8,865	233,187	3,554	2,548	1,581	3,170	13,597	24,450
道北	195	1,005	44,376	1,267	91	45	142	47,121	2,864	81	66	148	280	3,439
オホーツク	163	216	17,187	109	881	889	188	19,633	71	91	77	202	108	649
十勝	841	514	23,334	2,335	107	361	5,228	32,720	523	156	143	204	706	1,732
釧路・根室	373	331	43,295	141	33	112	1,219	45,505	3,378	283	87	213	242	4,203
合計	7,012	17,123	308,516	46,573	5,440	1,860	15,896	402,420	11,369	3,298	2,145	4,077	15,093	35,982

	北米		中南米	アフリカ	オセアニア		不明	合計	前年比	9年度
	米国	カナダ			豪州	その他				
道南	2,455	366	111	25	297	45	3,027	32,090	102.6	31,264
道央	22,287	1,693	1,288	340	2,248	812	33,467	308,772	139.7	221,037
道北	1,686	132	87	198	311	34	208	53,216	188.0	28,300
オホーツク	864	126	39	52	148	88	362	21,961	254.0	8,645
十勝	757	235	2,820	3,737	65	465	1,081	43,612	175.3	24,882
釧路・根室	1,166	152	121	196	150	25	213	51,730	169.4	30,536
合計	29,215	2,704	4,466	4,548	3,219	1,469	27,358	511,381	148.4	344,664

(4) 市町村別

市町村別にみますと、札幌市が158,532人泊(前年比69.1%増)で最も多く、次いで阿寒町40,538人泊(同87.1%増)、登別市36,374人泊(同95.8%増)、以下壮瞥町、上川町の順となっております。

(5) 国別・市町村別

宿泊者数の多い上位国を市町村別にみますと、全体としては温泉地を抱える市町村が上位となっている傾向が伺えます。

札幌市は、北海道の中核都市であり、各地との交通アクセスが良いことなどから、各国とも上位になっていると思われます。

平成10年度訪日外国人の来道宿泊者数（延べ数）

【宿泊延べ数の多い上位5ヶ国】

（単位：人泊、％）

順位	国名	宿泊延べ数	前年対比
1	台湾	308,516	182.4
2	中国(香港)	46,573	159.5
3	アメリカ	29,215	117.8
4	韓国	17,123	45.2
5	ロシア	11,369	129.6

【訪日外国人宿泊延べ数の多い市町村】

（単位：人泊、％）

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年対比
1	札幌市	158,532	169.1
2	阿寒町	40,538	187.1
3	登別市	36,374	195.8
4	壮瞥町	36,043	102.7
5	上川町	34,161	178.1

【台湾の宿泊延べ数の多い市町村】

（単位：人泊、％）

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年対比
1	札幌市	69,670	203.3
2	阿寒町	40,238	188.5
3	上川町	33,409	203.4
4	壮瞥町	33,250	122.1
5	函館市	19,937	96.3

【アメリカの宿泊延べ数の多い市町村】

（単位：人泊、％）

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年対比
1	札幌市	16,097	158.2
2	千歳市	2,669	46.9
3	函館市	2,229	115.4
4	登別市	857	149.0
5	苫小牧市	840	114.0

【中国(香港)の宿泊延べ数の多い市町村】

（単位：人泊、％）

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年対比
1	札幌市	20,692	170.9
2	登別市	11,810	289.5
3	虻田町	5,321	138.3
4	新得町	2,270	86.7
5	壮瞥町	1,142	皆増

【韓国の宿泊延べ数の多い市町村】

（単位：人泊、％）

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年対比
1	札幌市	5,925	78.8
2	千歳市	3,340	46.2
3	登別市	2,196	30.6
4	壮瞥町	1,651	20.9
5	苫小牧市	506	264.9

【ロシアの宿泊延べ数の多い市町村】

（単位：人泊、％）

順位	市町村名	宿泊延べ数	前年対比
1	札幌市	2,377	117.5
2	稚内市	2,359	192.3
3	釧路市	1,746	89.3
4	根室市	1,330	67.2
5	小樽市	943	90.8